

表紙について ▶ 但東シルクナス

シルクの郷但東町では、1983年に但東シルクロード計画が策定されました。但東自然ふれあいセンター「やまびこ」を基幹施設として様々な町おこしが実行されました。シルクの白をイメージしたシルクコーンの栽培より先に2000年にシルクナスの栽培・販売が始まりました。ナスを英語で“Egg plant”と言いますが、ガクから飛び出た白いナスは白い卵そのものです。

栽培にあたっては、陶器のように白く艶やかな果面に傷がつかないように、着果結実して親指大になった時点で袋掛け作業を行います。また強風による葉ズレ被害を防ぐために、圃場のまわりにはソルゴー（牧草）が植栽されています。カルシウム、ビタミンEなど栄養豊富なシルクナスは、焼きナス、ステーキ、素揚げはもちろんのこと、アヒージョ、バター炒めもお勧めです。熱を加えることにより、締まった果肉はふわとろの食感に変化し、絶妙の風味が感じられます。

（農業委員 西沢 泰裕）



白く艶やかな果面



袋掛け作業する井上孝士さん



全国農業新聞を購読してみませんか！

農業の最新情報を提供

週刊（毎週金曜日発行） 月700円
（送料、消費税込）

*お申し込みは
農業委員会事務局または、
地元の農業委員・推進委員
まで

編集後記

令和2年産の米は、令和2年6月末時点において適正在庫を上回るため、米価の下落を来しました。作況指数も「100」（全国）というところで益々在庫が増えています。

全国的には、令和3年産に向けての作付面積を削減の方向が示されました。豊岡市でも減反かと思いきや、前年の目標面積に対して、実際に作付された面積が54ヘクタール少ないということから、令和3年産の作付は、前年並で良いとのことでした。管理ができない遊休農地の拡大が懸念される事案です。

米の消費拡大の声があまり聞かれない反面、テレビCMでは食パン・菓子パンの映像がよく流れています。パンは日々進化をとげ、どれも美味しそうに見えるのは私だけでしょうか。

（編集委員長 西沢 泰裕）



農委だより第50号は私たちが担当しました。

後列左から 上坂委員、仲川委員、和田委員
前列左から 平峰委員、西沢委員、村田委員